岡山市に於ける1956年度日本脳炎流行と

蚊の灯火採集成績に就いて

岡山大学医学部寄生虫学教室

山 口 左 伸
 稲 臣 成 一
 木 村 道 也

(昭和32年1月8日受稿)

本年岡山県下の日本脳炎の発生は異常に多く、戦後最も多発した1950年の309名を突破して、337名を記録した。勿論県下では南部平地帯に多く、この調査を行つている岡山市でも前回の34名に対して本年は実に73名と驚異的な数字を示した。例年同様 Light trap で週2回宛4月より12月まで63回採集したが、この間に採集された蚊の種類及びその数は次のようである。

	アカイエカ	コガタアカ イエカ	シナハマダ ラカ
♀	497	3476	72
♂	1543	2893	90
計	2040	6369	162

なおこの外に何れも個体数少く時々しか採集されなかつたものに、カラツイエカ、トウゴウヤブカ、ヒトスチシマカ並にセシロヤブカがあり、総計に於て8623匹を得た。

これらの季節的な消長をみると、アカイエカは大体過去6年間にみられたのと同様で、6月中旬及び7月上旬にやや多くその後暑さと共に減少して8月下旬の気温降下と共にやや増している。活動全期間は4月12日より12月3日までであるが、これも例年同様であつた。

コガタアカイエカについては始め5月14日に雄1匹が採集されたが、以後6月中旬まで全く採集されず、15日に雄2匹、18日に雌2匹採集され以後引続き10月中旬まで採集された。本種は昨年よりは著しく多かつたが、然

しそれ以前の毎年の数字とは大差なく、特に異常に多かつたわけではない。これを1950年の大発生の時に比べると $\frac{1}{6}$ にしか当たらない数字である。その最盛期は8月2日を頂として7月27日より8月24日に至る1ヶ月間で、9月に入ると共にその数を減じ、下旬に至つて全く姿を消し、本年はもはや我々の Trap に採集されることはないことと予想していた所、10月4日より9、12、16日と1～2匹宛ではあるが、雌雄何れの個体も採集された。毎年大体9月中旬までであり、10月に入つて後採集されたのは過去6年の中でも日本脳炎の大流行をみた1950年並に翌1951年だけであつた。そして又1950年に勝るとも劣らない本年の大流行に当つて、又本種の活動期間が非常に長かつたことも何か日本脳炎との関係を思わせるようである。

シナハマダラカは数に於ても少く、7月終りより8月始めにかけて例年同様のやや多数に出た時期のある外は時々しか採集されていない。なお本年は割合にヒトスチシマカが採集されたが、勿論時々で1～3匹位ずつであつた。期間は6月中旬より10月下旬に及んでいた。

日本脳炎は68名を数えたが、7月の下石井の2例を除いては何れも8月中旬以降1ヶ月の間で、特に8月下旬に多数発生している。これは毎年見られた通りコガタアカイエカが多発後3週乃至4週であつた。然し発生は市内の全地域に亘り、特に濃厚発生地域もない。

日本脳炎の非常に多発した割にコガタアカイエカの数はいくつか少かつたが、勿論両者間に簡単に比例関係はある筈がなく、本年の多発は刺咬される機会よりVirusの毒性その他の原因に負う所が多いものと考えられる。然し例によつて採集されたアカイエカ並にコガタアカ

イエカの総てをその度に磨砕し、生理的食塩水を加えて後、Chamberland filter で濾過して Mouse 脳内に接種を試みたが、発症するものは1例もなかつた。

参 考 文 献

- 1) 山口外：岡山市に於ける1955年度日本脳炎流行と蚊の灯火採集成績に就いて、衛生動物，第7巻，第2号。

On the incidence of Japanese B encephalitis and the mosquitoes collected by light-trap at Okayama in 1956

By

Satyū Yamaguti
Seiiti Inatomi
Mitiya Kimura

(Department of Parasitology, Okayama University Medical School)

The authors have collected mosquitoes with light-trap twice a week from April to December, 1959 at Okayama city.

Species, number and seasonal distribution of the mosquitoes collected in 1956 were practically the same as those of the average year, while the encephalitis cases reported from within the city area were 337 as against 309 in 1950, the peak of the endemicity following as usual that of activity of the mosquitoes involved.